

令和3年度第2回熊本県地域公共交通協議会 議事要旨

- 日 時 令和4年3月16日（水）14時～15時
- 場 所 熊本県庁 地下大会議室
- 出席者 会議資料のとおり

【議事要旨】

<議事1：熊本県地域公共交通計画の変更について>

○事務局

- ・「資料1-1」「資料1-2」「資料1-3」「資料1-4」に基づき、熊本県地域公共交通計画の変更について説明。
- ・「参考資料」に基づき、令和3年県民アンケート結果の概要について説明。

○大井副会長

県民満足度の数値指標において、目標値を25.0%以上に設定したいとの協議内容であるが、同じくアンケート結果で得られた公共交通の利用頻度について、月に数日程度以上の利用者の割合も現状の18%から25%に引き上げられるとよい。県民の4分の1が利用して公共交通を支えていけることを期待したい。

また、今回のアンケート結果では、公共交通サービスに不満を感じる人の割合が38%と、満足度の23%を上回っている。満足度の割合を引き上げるだけでなく、不満の割合を抑えることも重要と考える。

さらに、年代別、居住年数別で見ると、20歳代、居住年数5年未満の人において利用頻度が高くなっている。特に地方では高齢者の利用に目が向いてしまいがちだが、若年層をターゲットに利用促進を図ることで、若いうちから公共交通を利用してもらう、満足してもらう施策を講じることも有効ではないか。

○事務局

事務局としても、若年層の利用頻度、満足度が他の世代に比べて高いことは、今回のアンケート結果のポイントだと考えている。公共交通の利用促進、満足度向上のため、今後もアンケート結果を十分に活用しながら、交通事業者と具体的な施策について意見交換を行い、計画を推進していきたい。

⇒ 賛成多数により、原案のとおり承認。

<議事2：熊本地域乗合バス事業共同経営について（報告）>

○高田委員（共同経営推進室）

- ・「資料2」に基づき、路線バス共同経営の進捗状況や、来年度以降の展望等について説明。

○大井副会長

共通定期の導入など、利用者の利便性向上に向けて着実に取り組まれていると思う。定期券の活用にあたっては、利用者の乗降データを確実に取得され、利用状況の精緻な分析に活かしていただきたい。また、研究事業への協力の話もあったが、私も手伝えることがあればお声かけいただきたい。

<その他>

○脇野委員

九州運輸局では、3月18日にウェブ併用のかたちで「運輸・観光 女性活躍促進セミナー」を開催するので、ぜひご視聴いただきたい。

また、国土交通省では、人口減少等を背景としたローカル鉄道の危機的状況を受け、「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」を設置し、政策のあり方を検討している。今後も情報共有しながら取組みを進めていくので、よろしく願いしたい。

(以上)